

地球温暖化対策報告書（その1）

1 事業者の氏名等

事業者の氏名 (法人にあっては名称 及び代表者の氏名)	東京ガス都市開発株式会社 代表取締役社長 秋元 茂樹			
事業者番号	A	0	6	4 5

2 報告する事業所等の全体の状況（平成28年度）

条例第8条の23第1項 報告事業所数	0 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	0 kl
条例第8条の23第2項 報告事業所数	29 事業所	原油換算エネルギー 使用量の合計	3,002 kl

3 地球温暖化対策のレベル

重点対策のレベル	2
----------	---

4 事業者としての取組

取組方針	当社は「東京ガスグループは、かけがえのない自然を大切に資源・エネルギーの環境に調和した利用により地域と地球の環境保全を積極的に推進し社会の持続的発展に貢献する」という環境理念のもと、循環型社会の形成に向けて、効率的・効果的な環境マネジメント活動を展開し、事業活動における資源・エネルギーの使用原単位を継続的に低減するとともに、廃棄物等の発生抑制・再使用・再資源化とグリーン購入を積極的に推進し、環境負荷を総合的に低減させる。			
組織体制の整備の状況	重点対策		その他対策	
	対策番号	対策名	対策番号	対策名
	A104	取組状況の点検体制の構築	A101	地球温暖化対策の方針等の設定
	A108	組織横断的な推進体制の整備	A102	温暖化対策推進担当の配置
			A103	具体的な取組目標と内容の設定
			A107	排出状況の整理・分析・提供
			A111	全従業員に温暖化対策情報の提供
			A113	推進担当者の知識向上・内部還元

5 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG墨田ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	0	3					
事業所等の所在地	〒	1	3	1	—	0	0	4	6	区市町村名	墨田区				
	町名番地	京島1-47-10													
事業所等の延床面積	2,507.42			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店			☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加、削除 【追加項目(重点対策)】 運用対策:C813、設備保守対策:D101、D105 【削除項目】 D106 理由:ボイラ設備が設置されいないため (前年度まで誤った対策項目をチェックしていました)														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	153	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	296	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	299	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	118.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	54,790.0	45.00	2,465.5	0.014	122.9
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	355,516.0	9.76	3,469.8	0.489	173.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 5,935.4		⑮ 296.8
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,460.0			0.251	1.1
	公共下水道	☐	m ³	4,460.0			0.439	2.0
合 計								⑯ 3.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施		
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無			
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
E102蛍光灯の電子安定器採用(屋内)

【平成28年度に実施した節電対策項目】

照明

- ・廊下、看板照明の一部消灯
- ・テナント専用部照明の減灯

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG多摩東ビル											
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	0	4		
事業所等の所在地	〒	1	8	4	—	0	0	1	3	区市町村名	小金井市	
	町名番地以下	前原5-6-9										
事業所等の延床面積	2,316.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	96	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	186	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	188	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	80.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	27,978.9	45.00	1,259.0	0.014	62.8		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	252,384.0	9.76	2,463.3	0.489	123.4		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	3,722.3		⑮	186.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	3,216.0				0.251	0.8	
	公共下水道		☐	m ³	3,216.0				0.439	1.4	
合 計										⑯	2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E119潜熱回収型ガス給湯器等の導入

E126窓際照明の連続調光制御

E139進相コンデンサ等による力率改善

E122給湯の温水配管の保温の実施

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

・専用部、共用部照明器具の一部消灯

②その他

・暖房便座、エアタオルの使用禁止

・コピー機、複合機の利用台数制限

・冷水機、製氷機の利用中止

・不使用时、待機電力を使用する電気機器のコンセントを抜く

・OA機器の省エネモード設計

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG大森アパート(組合事務所棟)														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	0	5					
事業所等の所在地	〒	1	4	3	—	0	0	1	5	区市町村名	大田区				
	町名番地 以下	大森西5-11-1													
事業所等の延床面積	1,288.98			m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
前年度の報告内容 からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の削除 【削除項目】 A401、A402、D101、E124 理由：未実施であったことが判明したため （前年度まで誤った対策項目をチェックしていました）														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	46	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	90	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	90	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	69.8	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	19,023.8	45.00	856.1	0.014	42.7		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	66,456.0	9.97	662.6	0.489	32.5		
		夜間 (22時～翌日 8時)	☐	kWh	32,227.0	9.28	299.1	0.489	15.8		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	1,817.7		⑮	90.9
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	1,253.0				0.251		0.3
	公共下水道		☐	m ³	1,254.0				0.439		0.6
合 計										⑯	0.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C123	温湿度の適正管理	C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C109	空室・不在時等の空調停止
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C129	季節に応じた温度設定の見直し
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C808	温湿度の適正管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
E122給湯の温水配管の保温の実施

【平成28年度節電対策項目】

①照明

- ・共用部照明器具減灯
- ・入居テナントにて共用部照明フロア毎の管理

②空調

- ・フロアごとの温度の把握・設定
- ・共用部フロア毎の空調管理

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG本郷ビル											
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	0	6		
事業所等の所在地	〒	1	1	3	—	0	0	2	3	区市町村名	文京区	
	町名番地	向丘2-3-6										
事業所等の延床面積	3,102.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(その他対策)】 運用対策:C104 設備導入対策:E102、E105											

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	75	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	146	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	147	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	47.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	23,250.9	45.00	1,046.3	0.014	52.2
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	193,447.0	9.76	1,888.0	0.489	94.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	2,934.3	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,142.0			0.251	0.5
	公共下水道	☐	m ³	2,142.0			0.439	0.9
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E130	全熱交換器の導入
				E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
 E119 潜熱回収型ガス給湯器等の導入
 E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
 E105 照明用人感センサの採用

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

・専用部、共用部照明器具の一部消灯

②その他

・暖房便座、エアタオルの使用停止
 ・給茶機、自動販売機の停止
 ・コピー機、複合機の利用台数制限
 ・OA機器の省エネモード設定

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG杉並ビル									
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	0	7
事業所等の所在地	〒	1	6	7	—	0	0	3	3	区市町村名 杉並区
事業所等の延床面積	3,664.00		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(その他対策)】 設備導入対策:E133									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	88	kl
二酸化炭素排出量	②	170	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	③	1	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	④	171	t
総計(④=②+③)	⑤	46.3	kg-CO ₂ /m ²
二酸化炭素排出原単位	⑥		
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=②×1000/事業所等の延床面積)			

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐ Nm ³	28,906.8	45.00	1,300.8	0.014	64.9
	その他(LPG)	☐ kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐ L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐	0.0				
	その他()	☐	0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐ kWh	216,747.0	9.76	2,115.5	0.489	106.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計					⑭	3,416.3	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐ m ³	2,410.0			0.251	0.6
	公共下水道	☐ m ³	2,410.0			0.439	1.1
合 計							⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E101 高効率照明ランプの採用(屋内)

E126 窓際照明の連続調光制御

E135 エネパーターのインバータ制御

E122 給湯の温水配管の保温の実施

E133 節水器具の採用

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

- ・専用部、共用部照明器具の一部消灯

②その他

- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・電気ポットの利用制限
- ・不使時、待機電力を使用する電気機器のコンセントを抜く
- ・OA機器の省エネモード設定

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG江戸川ビル											
事業所番号	A	0	6	4	5	－	0	0	0	8		
事業所等の所在地	〒	1	3	4	－	0	0	1	3	区市町村名	江戸川区	
	町名番地以下	江戸川6－18－4										
事業所等の延床面積	2,186.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	98	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	190	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	192	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	86.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	31,043.2	45.00	1,396.9	0.014	69.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	246,588.0	9.76	2,406.7	0.489	120.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	3,803.6	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,006.0			0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,006.0			0.439	1.3
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E105	照明用人感センサの採用
				E119	潜熱回収型ガス給湯器等の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E101高効率照明ランプの採用(屋内)

E126 窓際照明の連続調光制御

E130 全熱交換器の導入(個別)

E122 給湯の温水配管の保温の実施

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

・専用部照明器具の一部消灯

②その他

・暖房便座、エアタオルの使用停止

・電気ポットの利用中止

・コピー機、複合機の利用台数制限

・冷水機、製氷機の利用中止

・OA機器の省エネモード設定

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG深川体育館														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	0	9					
事業所等の所在地	〒	1	3	5	—	0	0	0	3	区市町村名	江東区				
	町名番地以下	猿江2-15-10													
事業所等の延床面積	1,645.14			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の削除 【削除項目】 A401、A402、C130、D101、D105、E104、E114、E124 理由：未実施であったことが判明したため （前年度まで誤った対策項目をチェックしていました）														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	36	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	71	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	71	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	43.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	12,063.9	45.00	542.9	0.014	27.1
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	91,113.0	9.76	889.3	0.489	44.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	1,432.1	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	550.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	537.0			0.439	0.2
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C113	中間期における外気冷房の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C803	フロア共用部の温度の把握・設定
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策			D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
				E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

【平成28年度節電対策項目】

①照明

- ・アリーナ内LED照明機器の採用
- ・未使用室の消灯
- ・利用者及び支配人による空調、照明の管理

②空調

- ・換気ファンの一部停止

③その他

- ・エレベーター停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG滝野川第一ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	0					
事業所等の所在地	〒	1	1	4	—	0	0	2	3	区市町村名	北区				
	町名番地以下	滝野川5-42													
事業所等の延床面積	8,392.92			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(その他対策)】 設備導入対策:E119														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	330	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	641	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	9	t
	総計(④=②+③)	④	650	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	76.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃 料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	131,657.4	45.00	5,924.6	0.014	295.4		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	706,885.0	9.76	6,899.2	0.489	345.7		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	12,823.8		⑮	641.1
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	14,487.0				0.251		3.6
	公共下水道		☐	m ³	14,487.0				0.439		6.4
合 計										⑯	10.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
		B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 E104 照明点灯範囲の細分化 E105 照明用感センサの採用
 E106 高効率照明ランプの採用(屋外) E139 進相コンデンサ等による力率改善
 E125 高輝度誘導灯の導入 E126 窓際照明の連続調光制御
 E130 全熱交換機の導入(個別) E111 ポンプ・ファンのインバータ制御
 E135 エレベーターインバータ制御 E122 給湯の温水配管の保温の実施
 E119 潜熱回収型ガス給湯器等の採用
 ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 C117 便座ヒーター等温度の季節別設定
 C802 階段照明の管理手法の検討・実施

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①その他

- ・温水便座の冬季以外の利用は停止
- ・電気ポットの保温は業務時間以外は停止
- ・自販機は省エネタイプを導入
- ・ブラインドは昼は採光目的、夜間休日は遮熱目的として使用

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG滝野川第二ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	1					
事業所等の所在地	〒	1	1	4	—	0	0	2	3	区市町村名		北区			
	町名番地以下	滝野川5-42													
事業所等の延床面積	6,510.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(その他対策)】 設備導入対策:E119														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	155	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	301	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	302	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	46.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	63,782.8	45.00	2,870.2	0.014	143.1		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	323,472.0	9.76	3,157.1	0.489	158.2		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	6,027.3		⑮	301.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,203.0				0.251		0.6
	公共下水道		☐	m ³	2,792.0				0.439		1.2
合 計										⑯	1.8

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
		B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内) E104 照明点灯範囲の細分化
 E106 高効率照明ランプの採用(屋外) E108 高効率照明器具の採用(屋外)
 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御 E125 高輝度誘導灯の導入
 E122 給湯の温水配管の保温の実施 E119 潜熱回収型ガス給湯器等の採用
 ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 C117 便座ヒーター等の季節別設定
 C802 階段照明の管理手法の検討・実施

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①その他

- ・温水便座の冬季以外の使用は停止
- ・電気ポットの保温は業務時間外は停止
- ・自販機は省エネタイプを導入
- ・ブラインドは昼は採光目的、夜間休日は遮熱目的として使用

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG目黒ビル											
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	2		
事業所等の所在地	〒	1	5	3	—	0	0	6	3	区市町村名 目黒区		
	町名番地 以下	目黒3-1-3										
事業所等の延床面積	5,967.00			m ²		事業所等の実績年度の エネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類 における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容 からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	137	kl
二酸化炭素 排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	267	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	269	t
二酸化炭素 排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	44.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計 の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及び 熱	都市ガス	☐	Nm ³	43,930.6	45.00	1,976.9	0.014	98.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	344,803.0	9.76	3,365.3	0.489	168.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 5,342.2		⑮ 267.2
そ の 他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,774.0			0.251	0.9
	公共下水道	☐	m ³	3,774.0			0.439	1.7
合 計								⑯ 2.6

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E126	窓際照明の連続調光制御
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E130	全熱交換器の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E139	進相コンデンサ等による力率改善
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
 E125 高輝度誘導等の導入 E105 照明用人感センサの採用
 E135 エレベーターのインバータ制御 E122 給湯の温水配管の保温の実施
 ■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 C114 事務用機器を省エネモードに設定
 C117 便座ヒーター等温度の季節別設定

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

- ・専用部照明器具の照度設定変更(750lx→400lx)
- ・共用部照明器具の一部消灯

②その他

- ・暖房便座、エアタオルの使用停止
- ・OA機器の省エネモード設定

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG赤羽ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	－	0	0	1	3					
事業所等の所在地	〒	1	1	5	－	0	0	4	4	区市町村名 北区					
	町名番地以下	赤羽南1-10-3													
事業所等の延床面積	1,916.19			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の削除 【削除項目】 D101 理由:未実施であったことが判明したため (前年度まで誤った対策項目をチェックしていました)														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	77	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	150	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	150	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	78.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	4,291.9	45.00	193.1	0.014	9.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	287,525.0	9.76	2,806.2	0.489	140.6
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 2,999.4		⑮ 150.2
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	486.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	486.0			0.439	0.2
合 計								⑯ 0.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備				A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C109	空室・不在時等の空調停止
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
	設備保守対策	D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E130	全熱交換器の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

【平成28年度節電対策項目】

①照明

・共用部照明器具点滅管理

②空調

・未使用室の空調停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG麻布ビル											
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	4		
事業所等の所在地	〒	1	0	6	—	0	0	5	4	区市町村名	港区	
	町名番地以下	南麻布2-5-19										
事業所等の延床面積	9,292.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	264	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	511	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	7	t
	総計(④=②+③)	④	518	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	95,564.5	45.00	4,300.4	0.014	214.4
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他 (軽油)		☐	L	0.0	37.70	0.0	0.019	0.0
	その他 ()		☐		0.0				
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	608,133.0	9.76	5,935.4	0.489	297.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑪	0.0	9.76	⑫	0.0
合 計							⑬ 10,235.8		⑭ 511.8
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	10,311.0			0.251	2.6
	公共下水道		☐	m ³	10,311.0			0.439	4.5
合 計									⑮ 7.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
				C104	採光を利用した消灯の実施
				C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人感センサの採用
				E130	全熱交換器の導入
				E119	潜熱回収型ガス給湯器等の導入
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
 E102 蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
 E125 高輝度誘導灯の導入
 E134 駐車場CO等濃度制御の導入
 E135 エレベーターのインバータ制御
 E122 給湯の温水配管の保温の実施

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①その他

- ・温水便座の冬季以外の使用は停止
- ・電気ポットの保温は業務時間外は停止
- ・自販機は省エネタイプを導入
- ・ブラインドは昼間は採光目的、夜間休日は遮熱目的で使用

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	上池袋配送センタービル														
事業所番号	A	0	6	4	5	－	0	0	1	5					
事業所等の所在地	〒	1	7	0	－	0	0	1	2	区市町村名	豊島区				
	町名番地以下	上池袋2-8-5													
事業所等の延床面積	523.37			m ²			事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(重点対策)】 設備導入対策:E114														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	25	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	49	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	49	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	93.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	2,918.3	45.00	131.3	0.014	6.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	87,952.0	9.76	858.4	0.489	43.0
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}			kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0
合 計						⑭	989.7	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	269.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	269.0			0.439	0.1
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策	E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南千住事務所											
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	6		
事業所等の所在地	〒	1	1	6	—	0	0	0	3	区市町村名	荒川区	
	町名番地以下	南千住3-19										
事業所等の延床面積	328.06		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	21	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	41	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	42	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	124.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	7,872.4	45.00	354.3	0.014	17.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	48,767.0	9.76	476.0	0.489	23.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	830.2	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,624.0			0.251	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,624.0			0.439	0.7
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	四谷クラブ														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	7					
事業所等の所在地	〒	1	6	0	—	0	0	0	5	区市町村名	新宿区				
	町名番地以下	愛住町6-1													
事業所等の延床面積	2,264.65			m ²			事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加、削除 【追加項目(重点対策)】 設備導入対策:E114 【削除項目】 A401、A402 理由:未実施であったことが判明したため (前年度まで誤った対策項目をチェックしていました)														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	136	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	263	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	267	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	116.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	53,765.3	45.00	2,419.4	0.014	120.6		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	242,489.0	9.97	2,417.6	0.489	118.6		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	49,984.0	9.28	463.9	0.489	24.4		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	5,300.9		⑮	263.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,973.0				0.251		1.5
	公共下水道		☐	m ³	5,973.0				0.439		2.6
合 計										⑯	4.1

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C123	温湿度の適正管理	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C115	事務用機器を業務終了時に停止	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C109	空室・不在時等の空調停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E122	給湯の温水配管の保温の実施

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
E124更新に合わせた高効率機器の採用

【平成28年度までの節電対策項目】

①照明

・運営会社による共用部及び未使用室の照明点滅管理

②空調

・常駐管理会社による運転管理(スケジュール、発停操作、温度管理)
各系統ごとの空調機運転・温度の把握・設定(AC-1,2,3)

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大森ゴルフ練習場															
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	8						
事業所等の所在地	〒	1	4	3	—	0	0	1	2	区市町村名	大田区					
	町名番地以下	大森東3-28-1														
事業所等の延床面積	1,691.19					m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有															
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)															
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他															
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当						
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加、削除 【追加項目(重点対策)】 エネルギー等:B103 【削除項目】 A401、A402、C105、C116、C120 理由:未実施であったことが判明したため (前年度まで誤った対策項目をチェックしていました)															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	124	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	241	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	3	t
	総計(④=②+③)	④	244	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	142.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	41,483.0	45.00	1,866.7	0.014	93.1		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	189,422.0	9.97	1,888.5	0.489	92.6		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	113,554.0	9.28	1,053.8	0.489	55.5		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	4,809.1		⑮	241.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	5,629.0				0.251	1.4	
	公共下水道		☐	m ³	5,629.0				0.439	2.5	
合 計										⑯	3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C109	空室・不在時等の空調停止
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E124	更新に合わせた高効率機器の採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

- ・入居テナントにて共用部照明フロア毎の管理
- ・投光器における高効率ランプの採用
- ・自席照明におけるLEDランプの採用

②空調

- ・フロアごとの空調の管理

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	板橋ユニクロビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	1	9					
事業所等の所在地	〒	1	7	3	—	0	0	0	4	区市町村名 板橋区					
	町名番地以下	板橋1-33-4													
事業所等の延床面積	779.59			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所					☒ 商業施設(物販)					☐ 商業施設(飲食)				
	☐ 工場					☐ 複合施設					☐ その他				
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(重点対策)】 運用対策:C813 設備保守対策:D101 設備導入対策:E103														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	61	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	119	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	119	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	152.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	20,300.7	45.00	913.5	0.014	45.6
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	151,078.0	9.76	1,474.5	0.489	73.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭ 2,388.1		⑮ 119.4
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	338.0			0.251	0.1
	公共下水道	☐	m ³	338.0			0.439	0.1
合 計								⑯ 0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C813	外灯等の点灯時間の季節別管理		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	江東ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	－	0	0	2	0					
事業所等の所在地	〒	1	3	5	－	0	0	1	3	区市町村名 江東区					
	町名番地以下	猿江2-15-5													
事業所等の延床面積	3,000.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店			☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点															

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	96	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	187	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	189	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	62.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	28,264.0	45.00	1,271.9	0.014	63.4		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	253,247.0	9.76	2,471.7	0.489	123.8		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	3,743.6		⑮	187.3
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	4,302.0				0.251	1.1	
	公共下水道		☐	m ³	4,302.0				0.439	1.9	
合 計										⑯	3.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
				E125	高輝度誘導灯の導入
				E105	照明用人感センサの採用
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E101 高効率照明ランプの採用(屋内)
 E106 高効率照明ランプの採用(屋外)
 E107 蛍光灯へ電子安定器の採用(屋外)
 E108 高効率照明器具の採用(屋外)
 E126 窓際照明の連続調光制御
 E135 エレベーターのインバータ制御
 E130 全熱交換機の導入(個別)
 E122 給湯の温水配管の保温の実施

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

・専用部、共用部照明器具の一部消灯

②その他

・暖房便座、エアタオルの使用停止
 ・電気ポットの利用制限
 ・コピー機、複合機の利用台数制限
 ・冷水機、製氷機の利用中止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	荒川配送センタービル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	1					
事業所等の所在地	〒	1	1	6	—	0	0	0	2	区市町村名	荒川区				
	町名番地以下	荒川3-50-14													
事業所等の延床面積	791.39		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(重点対策)】 運用対策:C105、C123 設備保守対策:D101														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	42	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	82	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	82	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	103.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	10,440.8	45.00	469.8	0.014	23.4		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	120,098.0	9.76	1,172.2	0.489	58.7		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	1,642.0		⑮	82.2
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	247.0				0.251	0.1	
	公共下水道		☐	m ³	247.0				0.439	0.1	
合 計										⑯	0.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施		
		C123	温湿度の適正管理		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	萩中マクドナルドビル									
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	2
事業所等の所在地	〒	1	4	4	—	0	0	4	7	区市町村名 大田区
事業所等の延床面積	212.39		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(重点対策)】 設備保守対策:D101 設備導入対策:E103									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	107	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	207	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	208	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	974.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	30,633.3	45.00	1,378.5	0.014	68.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	284,400.0	9.76	2,775.7	0.489	139.1
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	4,154.2	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,812.0			0.251	0.5
	公共下水道	☐	m ³	1,812.0			0.439	0.8
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

(裏)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	萩中事務所														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	3					
事業所等の所在地	〒	1	4	4	—	0	0	4	7	区市町村名	大田区				
	町名番地	以 下 萩中3-2-8													
事業所等の延床面積	198.00			m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満							
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(その他対策)】 設備導入対策:E139														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	2	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	4	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	4	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	20.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	231.0	45.00	10.4	0.014	0.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	7,669.0	9.76	74.8	0.489	3.8
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	85.2	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	127.0			0.251	0.0
	公共下水道	☐	m ³	127.0			0.439	0.1
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策			C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策			E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	谷原・ビッグモーター														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	4					
事業所等の所在地	〒	1	7	7	—	0	0	3	2	区市町村名		練馬区			
	町名番地以下	谷原1-1													
事業所等の延床面積	239.34		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当							
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の削除 【削除項目】 B106、E105 理由：業態変更により過去のエネルギー使用量と比較ができなくなったため														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	11	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	21	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	21	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	87.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	3,117.5	45.00	140.3	0.014	7.0
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	29,572.0	9.76	288.6	0.489	14.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	428.9	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	73.0			0.251	0.0
	公共下水道	☐	m ³	73.0			0.439	0.0
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握				B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■2015年12月にテナント退去テナント名:谷原マクドナルド■2016年3月に新規テナント入居テナント名:ビッグモーター
新規入居に伴い、テナントにて高効率PAC、LEDの採用

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG荏原ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	5					
事業所等の所在地	〒	1	4	2	—	0	0	6	3	区市町村名 品川区					
	町名番地以下	荏原4-2-4													
事業所等の延床面積	6,378.00			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満				
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食)														
	☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店			☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(重点対策)】 運用対策:C814 【追加項目(その他対策)】 設備導入対策:E137														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	129	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	250	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	251	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	39.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	30,175.1	45.00	1,357.9	0.014	67.7		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	374,291.0	9.76	3,653.1	0.489	183.0		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭	5,011.0		⑮	250.7
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	2,679.0				0.251	0.7	
	公共下水道		☐	m ³	2,328.0				0.439	1.0	
合 計										⑯	1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C814	屋内駐車場換気の不要時間の停止	C109	空室・不在時等の空調停止
				C130	エレベータ運転台数の制限
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C816	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
				C818	エレベータ運転台数の制限
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E105	照明用人体感センサの採用
				E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■設備導入対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 E101 高効率照明ランプの採用(屋内) E102 蛍光灯へ電子安定器採用
 E126 窓際照明の連続調光制御 E129 全熱交換機の導入(個別)
 E135 エレベーターのインバータ制御 E139 進相コンデンサ等による力率改善
 E111 ポンプ・ファンのインバータ制御 E122 給湯の温水配管の保温の実施
 E137 高効率変圧器への更新・台数集約
■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
 C117 便座ヒーター等温度の季節別設定

【平成28年度に実施した節電対策項目】
 ①照明
 ・専用部、共用部照明器具の一部消灯
 ②その他
 ・暖房便座、エアタオルの使用停止
 ・冷水機、製氷機の利用中止
 ・不使用时、待機電力を使用する電気機器のコンセントを抜く
 ・OA機器の省エネモード設定

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	芝浜ビル									
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	6
事業所等の所在地	〒	1	0	8	—	0	0	2	3	区市町村名 港区
事業所等の延床面積	3,966.51		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☐ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☒ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加、削除 【追加項目(重点対策)】 エネルギー等:B103、運用対策:C105、C813 【削除項目】 A401 理由:未実施であったことが判明したため (前年度まで誤った対策項目をチェックしていました)									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	98	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	191	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	192	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	48.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	26,024.3	45.00	1,171.1	0.014	58.4
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	271,311.0	9.76	2,648.0	0.489	132.7
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	3,819.1	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,623.0			0.251	0.4
	公共下水道	☐	m ³	1,623.0			0.439	0.7
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼		
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
		B107	主要設備の使用状況の把握	B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C817	季節に応じた温度設定の見直し	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C815	看板照明点灯時間の季節別管理
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D105	換気フィルターの清掃・点検	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E130	全熱交換器の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E122	給湯の温水配管の保温の実施
				E137	高効率変圧器への更新・台数集約
				E139	進相コンデンサ等による力率改善

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)
E101高効率照明ランプの採用(屋内)E102蛍光灯へ電子安定器採用

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①照明

- ・テナント専用部照明器具減灯の協力依頼
- ・共用部廊下・看板照明一部消灯

②空調

- ・共用部廊下空調の停止

③その他

- ・機械室等給排気ファンの停止
- ・ウォシュレット便座・温水ヒーター停止
- ・共用部手洗給温水器停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	木曽路ビル									
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	7
事業所等の所在地	〒	1	7	7	—	0	0	3	2	区市町村名 練馬区
事業所等の延床面積	583.74		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(重点対策)】 設備保守対策:D101、D105									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	103	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	200	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	2	t
	総計(④=②+③)	④	202	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	342.6	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	36,622.7	45.00	1,648.0	0.014	82.2
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	242,172.0	9.76	2,363.6	0.489	118.4
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	4,011.6	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	4,170.0			0.251	1.0
	公共下水道	☐	m ³	4,170.0			0.439	1.8
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策				
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換		
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	竹芝ビル											
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	2	8		
事業所等の所在地	〒	1	0	5	—	0	0	2	2	区市町村名	港区	
	町名番地以下	海岸1-11-1										
事業所等の延床面積	988.05			m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☐ 自己所有 ☒ 他者所有											
報告範囲	☐ 建物の全部 ☒ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☒ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	50	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	97	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	1	t
	総計(④=②+③)	④	98	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	98.1	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	20,830.4	45.00	937.4	0.014	46.7
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	104,166.0	9.76	1,016.7	0.489	50.9
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	1,954.0	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	2,517.0			0.251	0.6
	公共下水道	☐	m ³	2,517.0			0.439	1.1
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	南青山ビル									
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	3	0
事業所等の所在地	〒	1	0	7	—	0	0	6	2	区市町村名 港区
事業所等の延床面積	2,108.85		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間			☒ 1年度分 ☐ 1年未満		
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分			☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当		
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加、削除 【追加項目(その他)】 設備導入対策:E124 【削除項目】 A401、A402、D105 理由:未実施であったことが判明したため (前年度まで誤った対策項目をチェックしていました)									

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)	①	141	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	273	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
総計(④=②+③)	④	277	t
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	129.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量				
								排出 係数 ⑨	排出量※ ¹ (t) ⑩=⑧×⑨×44/12			
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	60,917.6	45.00	2,741.3	0.014	136.7			
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0			
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0			
	その他 ()		☐		0.0							
	その他 ()		☐		0.0							
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	215,841.0	9.97	2,151.9	0.489	105.5			
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	63,356.0	9.28	587.9	0.489	31.0			
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0			
規則第5条の17第3項の場合のみなし値※ ²				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	0.489	⑬	0.0
合 計							⑭	5,481.2		⑮	273.2	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	7,210.0				0.251	1.8		
	公共下水道		☐	m ³	7,210.0				0.439	3.2		
合 計										⑯	5.0	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B105	エネルギー使用量の前年度比較
省エネルギー 対策	運用対策	C115	事務用機器を業務終了時に停止	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C108	温度計等による室温の把握と調整
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C116	個人用端末の不用・離席時の停止
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C804	共用部のフロアごとの空調の管理
				C810	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D104	空調フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
				E108	高効率照明器具の採用(屋外)
				E110	高効率モータの導入(空調用)

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E111ポンプ・ファンのインバータ制御

E122給湯の温水配管の保温の実施

E124更新に合わせた高効率機器の採用

【平成28年度節電対策項目】

①照明

・運営会社による共用部及び未使用部の照明のフロア毎の管理

②空調

・フロア及び各室毎の管理

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	TG立川ビル														
事業所番号	A	0	6	4	5	—	0	0	3	1					
事業所等の所在地	〒	1	9	0	—	0	0	1	2	区市町村名	立川市				
	町名番地以下	曙橋3-6-13													
事業所等の延床面積	10,603.18		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間					☒ 1年度分 ☐ 1年未満					
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有														
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)														
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他														
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分					☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当					
前年度の報告内容からの変更点	地球温暖化対策の実施状況の追加 【追加項目(その他対策)】 設備導入対策:E133														

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	300	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	581	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	4	t
	総計(④=②+③)	④	585	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	54.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別			推計 の 使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量			
								排出 係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12		
燃料 及 び 熱	都市ガス		☐	Nm ³	139,400.3	45.00	6,273.0	0.014	312.8		
	その他 (LPG)		☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0		
	その他 (灯油)		☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0		
	その他 ()		☐		0.0						
	その他 ()		☐		0.0						
電 気	一般送配電事業者 の電線路を介して 供給された電気	昼間 (8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0		
		夜間 (22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0		
	その他の買電 (昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	549,747.0	9.76	5,365.5	0.489	268.8		
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑪	0.0	⑬	0.0
合 計							⑭ 11,638.5		⑮	581.6	
そ の 他	水道及び工業用水道		☐	m ³	6,071.0			0.251	1.5		
	公共下水道		☐	m ³	6,071.0			0.439	2.7		
合 計									⑯	4.2	

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=(⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A404	テナントへの温暖化対策協力依頼	A401	テナントにエネルギー使用量提供
				A402	使用量の推計に必要な情報の提供
				A405	ビル全体の推進体制の整備
エネルギー等の 使用状況の把握		B103	時間的に詳細に把握	B101	自ら入手可能な情報に基づく把握
				B102	関連他者からの情報を加えて把握
				B104	設備ごとに詳細に把握
省エネルギー 対策	運用対策	C105	昼休み時の消灯の実施	C101	空室・不在時等のこまめな消灯
		C113	中間期における外気冷房の実施	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C813	外灯等の点灯時間の季節別管理	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
				C109	空室・不在時等の空調停止
				C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
				C801	共用部照明のフロアごとの管理
				C802	階段照明の管理手法の検討・実施
				C806	その他設備の不使用时の停止
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D104	空調フィルターの清掃・点検
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
		D105	換気フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E109	空調の冷温水配管の保温の実施	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用人感センサの採用

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有	☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

■エネルギー等の使用状況の把握についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

B108エネルギー等情報の対策への活用

■運用対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

C104採光を利用した消灯の実施 C111予熱・予冷時の外気導入の停止

C816ポンプ・ファンの流量、圧力調整

■設備保守対策についての実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

D102セントラル空調のフィルター清掃

■設備導入対策について実施項目(セルに記入しきれなかった対策)

E101高効率照明ランプの採用(屋内) E106高効率照明ランプの採用(屋外)

E107蛍光灯へ電子安定器採用(屋外) E108高効率照明器具の採用(屋外)

E110高効率モータの導入(空調用) E111ポンプ・ファンのインバータ制御

E119潜熱回収型ガス給湯器等の採用 E122給湯の温水配管の保温の実施

E126窓際照明の連続調光制御 E129全熱交換機の導入(中央)

E130全熱交換機の導入(個別) E135エレベーターのインバータ制御

E137高効率変圧器への更新・台数集約 E139進相コンデンサ等による力率改善

E140BEMSの導入 E141太陽光発電設備の導入 E142太陽熱利用設備の導入

E133節水器具の採用

【平成28年度に実施した節電対策項目】

①その他 ・暖房便座の使用停止

地球温暖化対策報告書（その2）

1 事業所等の概要

事業所等の名称	桜ヶ丘四丁目											
事業所番号	A	0	6	4	5	－	0	0	3	2		
事業所等の所在地	〒	2	0	6	－	0	0	1	3	区市町村名	多摩市	
	町名番地以下	桜ヶ丘4－33										
事業所等の延床面積	112.49		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間				☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有											
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	☒ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☐ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	6	9	1	1	連鎖化事業区分				☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量（平成28年度の状況）

原油換算エネルギー使用量(①=⑭×0.0258)		①	1	kl
二酸化炭素排出量	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑮)	②	2	t
	水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑯)	③	0	t
	総計(④=②+③)	④	2	t
二酸化炭素排出原単位	燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	17.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別		推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=(⑥/1000)×⑦	二酸化炭素排出量	
							排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
燃料及び熱	都市ガス	☐	Nm ³	211.7	45.00	9.5	0.014	0.5
	その他(LPG)	☐	kg	0.0	50.80	0.0	0.016	0.0
	その他(灯油)	☐	L	0.0	36.70	0.0	0.019	0.0
	その他()	☐		0.0				
	その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時～22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
		夜間(22時～翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	5,149.0	9.76	50.3	0.489	2.5
規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}				kWh	⑫	0.0	9.76	⑬
合 計						⑭	59.8	⑮
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	87.0			0.251	0.0
	公共下水道	☐	m ³	87.0			0.439	0.0
合 計								⑯

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑫=⑪/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数)×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備					
エネルギー等の 使用状況の把握		B106	過去のデータによる傾向の把握	B102	関連他者からの情報を加えて把握
省エネルギー対策	運用対策				
	設備保守対策				
	設備導入対策				

実績年度の目標達成の状況

☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無		☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t	
	その他	特記事項に内容を記載					

6 特記事項